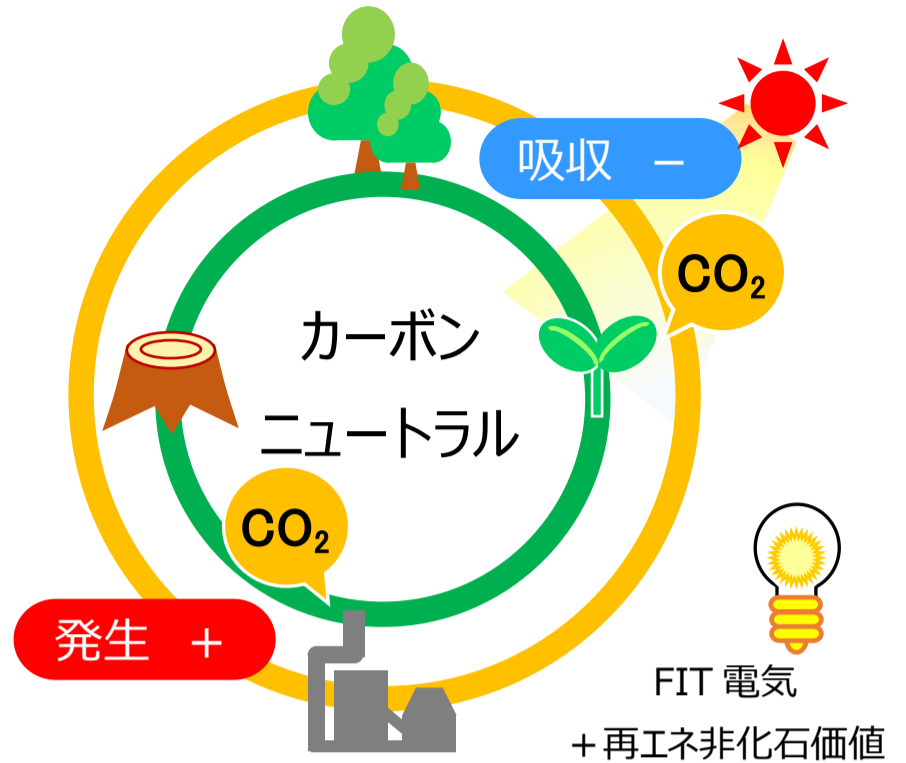


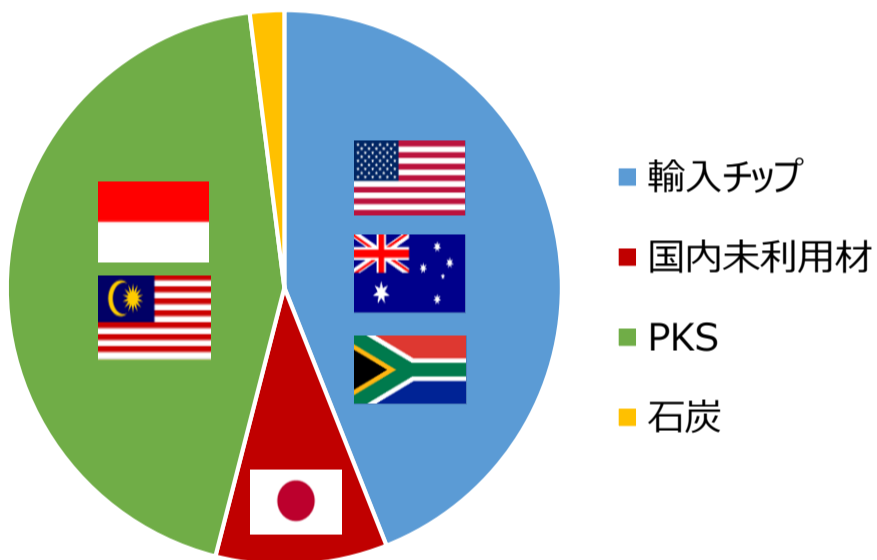
愛知県半田市 サミット半田パワー(株) 半田バイオマス発電所

バイオマスとは、動植物などから生まれた資源を指し、石炭や石油と違い再生が可能であることから、太陽光と同じ再生可能エネルギーに分類されます。バイオマス発電は、この木質バイオマスを燃料として燃焼し電気を作る火力発電であることから、二酸化炭素（CO₂）を発生しますが、燃料となる植物はその成長の過程で CO₂ を吸収することから、これをカーボンニュートラルといいます。

バイオマス発電は、太陽光発電や風力発電のように天候や風に左右されることなく、安定した発電が可能のため、ベース電源に位置づけられます。



燃料混焼比率イメージ



住友商事グループで電力小売りを営む、サミットエナジー(株)が 2012 年に設立し、2017 年に運転を開始したサミット半田パワー(株)半田バイオマス発電所では、製材の際に出た端材や、建材に利用できない木材（未利用材）を細かくしたチップとヤシ核殻（PKS:パーム油を搾った後の果実の種の殻）を主燃料としています。なお燃料のうち国内未利用材は、地元愛知の材を地産地消する他、岐阜・長野・三重や長崎県のチップを利用し、これらの燃料を使い発電した電気は 15 万世帯が使う量に相当し、中部電力パワーグリッド(株)を經由して全量をサミットエナジー(株)に供給しています。



サミット半田パワー株式会社
Summit Handa Power Corporation

半田バイオマス発電所 発電出力：75,000kW